



先人

四国有数の工業都市である新居浜市。その発展の礎を築いた人物を「先人(せんじん)」とし、その偉業や崇高な志を未来に遺す取り組みをしています。

平成 29 年 11 月 3 日「新居浜市先人を未来につなぐ条例」を施行いたしました。



(住友史料館所蔵)

一意殖産興業に身を委ね 数千万人と利をともにせん
問わんと欲す国家経済のこと

ひろ せ さい へい
広瀬 宰平

—別子銅山近代化の祖—

日本の産業革命の先駆者として、別子銅山の近代化を推進。



(住友史料館所蔵)

別子の全山を旧のあをあをとした姿にして、
これを大自然にかへさなければならない

い ば てい ごう
伊庭 貞剛

—環境対策の先駆者—

環境対策の先駆者として、植林事業及び環境問題への取組



(住友史料館所蔵)

自分は正義公道を踏んで、
皆と国家百年の仕事になす考えである

すず き まさ や
鈴木 馬左也

—国家百年の事業—

技術革新による環境問題の解決及び新たな事業の確立



(「鷺尾勘解治翁」より)

別子銅山の末期に於いて
これに代るべき事業を興す

わし お か げ じ
鷺尾 勘解治

—企業と地域の共存共栄—

産業及び地域社会のため、新居浜の「地方後栄策」を提唱



この華やかな躍進工都の観衆者であってはいけない、
少なくともその演出者の一員でなければならない

しら いし たか じろう
白石 誉二郎

—工都新居浜の礎—

「地方後栄策」の推進及び工都新居浜の都市基盤整備



名誉市民

新居浜市名誉市民は、郷土の社会文化、産業の発展に大きな功績があり、市民が郷土の誇りとしてひとしく尊敬できる人にその称号を贈り、顕彰するものです。

平成2年11月3日、3氏が初の新居浜市名誉市民の称号を贈られました。



あおのしげま
青野重馬氏

- 明治41年7月1日生
- 昭和53年 勲五等双光旭日章を受章
- 平成5年2月9日逝去

昭和22年から新居浜市議会議員（6期）、この間副議長、議長に就任され、市政発展に尽くされた。また、昭和28年より港務局委員（17年間）、昭和27年初代新居浜市教育委員に就任され、奨学資金制度創設基金として高額寄付されるなど、本市の教育の振興と青少年育成に尽くされた。更に昭和50年新居浜商工会議所副会頭、会頭等を歴任されるなど、温厚篤実にして豊かな知性をもって、地方自治、教育及び産業経済の振興に多大の貢献をされた。



おののもとみち
小野基道氏

- 明治37年2月17日生
- 昭和51年 勲五等双光旭日章を受章
- 平成6年11月10日逝去

昭和27年初代新居浜市教育委員長、昭和35年県教育委員（1期）として戦後混乱期の教育行政確立に尽くされた。昭和46年から文化協会会長（15年間）、また昭和10年以来産業医、学校医及び新居浜市学校保健会会長等、更に昭和31年から新居浜市医師会会長等を歴任されるなど、優れた知性と滋味溢れる人間性をもって、教育文化の振興、地域保健の向上充実に多大の貢献をされた。



こんどうひろなか
近藤廣仲氏

- 明治30年12月1日生
- 昭和47年 勲四等瑞宝章を受章
- 平成10年3月12日逝去

昭和22年角野町長に就任して以来、県議会議員を5期務められ、この間副議長、議長として県政及び市政進展に尽くされた。昭和43年から新居浜商工会議所会頭、愛媛県商工会議所理事、昭和48年新居浜市森林組合長等を歴任され、地元はもとより県下諸産業並びに商工業の発展に尽くされるなど、豊かな識見、高潔な人格をもって地方自治及び産業経済振興等に多大の貢献をされた。



新居浜